

## 令和4年度 施策レビューの試行について（事務局案）

## 1 施策レビュー試行実施の内容について

【実施時期】令和4年7月30、31日（予定）

【対象施策】基本政策2及び基本政策5（別紙）

※多くの部が関わる政策を抽出

※既存施策をベースに事業展開している政策を抽出

【レビュー体制】コーディネーター1名＋検証委員4名（2班体制）

検証委員：行革委員、専門委員、まちづくり構想審議会委員

市民評価者：まちづくり構想市民会議参加者より20名程度

【レビュー項目】①施策・施策の成果指標の達成に向けての課題認識

②取組の方向性、事業展開など施策実現に向けてどうすべきかについて議論し、意見をいただく。

（留意点）

・施策の良し悪しについての評価ではない

・数値目標については、議論をいただくが主題とはしない

## 2 実施の体制

## ■コーディネーター

各グループで、施策レビューの進行役を務め、検証委員と説明者の間で有意義な議論が円滑に進むように促す。同時に、議論を整理しながら、必要な質問・指摘・解決手段の提起や取りまとめを行う。

## ■検証委員

説明者から施策及び施策に紐づく事業の説明を受け、質問を投げかけながら課題の指摘や課題解決の手段について提案を行う等、議論を重ねながら検証を行う。

## ■市民評価者

検証委員と説明者との議論を聴いて、施策及び施策に紐づく事業が効果的に実施されているかを確認・評価するとともに、施策レビューで感じた意見・感想等をシートに記入する。

## ■説明者

市の担当部署職員が、施策及び施策に紐づく事業の説明、検証委員との議論を行う。

## ■事務局

市長公室経営戦略課の職員が、レビューの冒頭で施策及び成果指標の概要について説明を行う。

## 3 進行手順

次の手順により、1施策あたり60分～150分（構成事業数により所要時間を変える）で評価作業を行う。

①施策概要説明 事務局及び説明者が、施策レビューシート等に沿って説明を行う。

②質疑応答及び議論

検証委員が、施策・施策目標の達成に向けての課題、担当部としての取組

の方向性、事業展開など施策実現に向けてどうすべきかについて議論を行い、意見をいただく。

③議論のとりまとめ

議論の内容を受けて、コーディネーターがレビューの取りまとめを行う。

4 スケジュール

5月10日：行革委員会で施策進捗レビューに関し、日程や内容等を協議

6月初旬：レビューシートなど関係資料を対象部署にて作成（～6月末）

7月初旬：資料の最終確認

7月中旬：検証委員、市民評価者へ資料配布

7月30、31日（予定）：施策レビュー（公開）